

学校だより

学力調査特集号

# いまいま 西っ子



## 国語・算数ともに、良好な結果となりました

4月18日(木)に「全国学力・学習状況調査」を実施しました。本校の6年生の結果について全国や県と比較してお知らせします。学年全体の傾向として国語・算数ともほとんどの領域で県・全国の平均値を上回る結果となりました。また、「無解答率」が非常に低いことから、あきらめずに問題に向き合い、自分なりの答えを出している様子も分かりました。ただ一部、課題と考えられる点もありますので、この結果を今後の授業改善に生かしていきます。

### 1 教科に関する調査結果の概要

調査結果を教科・領域ごとにまとめました。表の中の記号は、全国・県との平均正答率を比較したものです。

「○」…全国・県より高い 「□」…全国・県とほぼ同じ 「△」…全国・県より低い

【国語】  	平均正答率%の全国との比較	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)			
		知識・技能	思・判・表		
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと
国語 (全 14 問)	○	○	○	○	○

【算数】 	平均正答率%の全国との比較	学習指導要領の領域別平均正答率 (%)			
		数と計算	図形	変化と関係	データの活用

#### 【国語】課題と考えられる点

伝え方の工夫を読み取る

対話文を読んで、相手に自分の考えを効果的に伝えるために、話者がどのような工夫をしているかを選択肢から選ぶ問題がありました。

「実物を示しながら話した」が正解ですが、対話文を読んでその場面をイメージできたかがポイントです。

今後の授業では、文章の場面を頭の中で映像化できるか、どのようなねらいや思いがあってそのような伝え方をしたのかなどを問い、「読み取りの力を高める授業」を実践していきたいと思えます。

#### 【算数】課題と考えられる点

時間・速さ・道のりの関係理解

時間・速さ・道のりに関係する問題が3問出題されていました。上の表では「変化と関係」に関わる問題です。それぞれがいわゆる応用問題でしたが、他の領域と比較して誤答の割合が高くなっていました。

「道のり＝時間×速さ」という知識はもちろん必要ですが、文章から状況を把握し、学習した知識を活用・応用して解を導き出す力をさらに伸ばしていける授業を心がけます。